

令和4年7月13日

令和4年度第4回教育委員会定例会会議録

鹿児島県教育委員会

令和4年度第4回教育委員会定例会会議録

日時 令和4年7月13日（水）

15時30分～16時50分

場所 教育委員会室

出席者

東島今原堀馬 條津村之園江場 教委員委員委員委員 育員員員員 長

(事務局職員)

森 副 教 育 長
黒木 木 教 育 次 長 兼 生 徒 指 導 総 括 監
宮 田 教 育 次 長 兼 総 務 福 利 課 長
永 田 教 職 員 課 人 事 管 理 監
加 藤 義 務 教 育 課 長
大 山 義 務 教 育 課 特 別 支 援 教 育 室 長
紺 屋 高 校 教 育 課 長
龍 保 健 体 育 課 長
中 村 社 会 教 育 課 長
南 文 化 財 課 長
内 園 高 校 教 育 課 全 国 高 等 学 校 総 合 文 化 祭 推 進 室 長
波 之 平 総 務 福 利 課 長 補 佐

議 決 事 項

件 名	提 案 理 由	審議の状況	採決の次第
議案第1号 鹿児島県立特別支援学校学則の一部を改正する規則の制定について	鹿児島県立鹿児島南特別支援学校を設置するため、所要の改正をしようとするものである。	特記事項なし	決 定
議案第2号 県立学校長の任命について	鹿児島南特別支援学校開設に伴い任命を行うものである。	特記事項なし	決 定
議案第3号 学校職員の懲戒処分について	学校職員の非違行為について、教育公務員としての責任を問おうとするものである。	特記事項なし	決 定
議案第4号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について	鹿児島県スポーツ推進審議会委員の辞任に伴い、その後任を任命しようとするものである。	特記事項なし	決 定
議案第5号 鹿児島県社会教育委員の委嘱について	鹿児島県社会教育委員の任期満了に伴い、次期の委員を委嘱しようとするものである。	特記事項なし	決 定

会 議 要 旨

1 開会

2 会議の公開等について

議案第2号から議案第5号，その他(3)及びその他(4)については，非公開で審議する旨教育長から発議があり，全会一致で議決された。

3 令和4年度第3回教育委員会定例会会議録について

令和4年度第3回教育委員会定例会の会議録について，承認する旨，教育長から発議があり，全会一致で議決された。

4 議案

議案第1号 鹿児島県立特別支援学校学則の一部を改正する規則の制定について

- 一 鹿児島県立鹿児島南特別支援学校の設置に伴い，所要の改正をしようとする事について 一

〈特別支援教育室長が資料に沿って説明〉

〈質疑なし〉

〈議決〉

(教育長) 異議がないので，議案第1号は原案のとおり議決する。

5 その他

(1) 鹿児島県特別支援学校等教育環境改善検討委員会について

- 一 鹿児島県特別支援学校等教育環境改善検討委員会の概要や協議の内容について 一

〈特別支援教育室長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(島津委員) 今回の検討委員会の対象は，特別支援学校ということか。離島における特別支援教育の充実を考えると特別支援学級の問題や通級指導も重要だと思うが，その扱いはどのように考えているのか。また，様々な課題があることから，特別支援学校の新設を想定しているのか。

(特別支援教育室長) 離島には，中種子養護学校と大島養護学校を設置している。離島の特別支援教育を充実させていくためにどのようなことが必要か検討しているところである。また，特別支援学校の新設については，対象となる児童生徒数が増加していること等を踏まえ，検討することも必要であると考えている。

(島津委員) 一般的な意味での特別支援学級や通級指導については，今回の

検討委員会ではどのような扱いになるのか。

(特別支援教育室長) 検討委員会では、特別支援学校について検討することとしており、特別支援学級や通級による指導については、特別支援教育室として教育センターや市町村教育委員会と連携し、充実を図っていきたいと考えている。

(島津委員) 今回はあくまでも特別支援学校を対象とするということでしょうか。

(特別支援教育室長) そのとおりである。

(原之園委員) 資料6-2に、大きな課題が4つあげられているが、「特別支援学校に通う児童生徒の増加への対応」とあり、別冊資料15ページに在籍児童生徒が200人以上の学校が6校とある。1校あたりどれくらいの児童生徒数が適正規模なのか。

また、「通学時間への対応」について、鹿屋から志布志方面は、最近は高速道路も繋がり、時間的には少し余裕ができたのかなと思うが、通学についてはどれくらいの時間を要するのか。

(特別支援教育室長) 施設設備や学校経営の状況も様々であるため、はっきりと何名程度が適正規模であると申し上げることは難しい。

また、通学について、志布志は牧之原養護学校の学区である。通学時間については、はっきり何分までと申し上げることは難しいが、できるだけ児童生徒の負担軽減を図って参りたいと考えている。

(原之園委員) 児童生徒の通学時間をできるだけ短くすることが大事であるため、学区の変更等についても検討していただきたい。

〈質疑終了〉

(2) 第47回全国高等学校総合文化祭（2023かごしま総文）活動状況報告について

ー 第47回全国高等学校総合文化祭（2023かごしま総文）の活動状況について ー

〈全国高等学校総合文化祭推進室長が資料に沿って説明〉

〈質疑〉

(島津委員) 来年の総文祭のときには、ベトナム、ニュージーランドと具体的にどのようなイベントを行うのか。

また、部活動の地域移行の関連で、日本は学校単位で文化部活動を行っているが、ベトナムやニュージーランド等の海外の学校はどのような形で行っているのかわかれば教えていただきたい。

(全国総文祭室長) まず1点目の、来年度ベトナムとニュージーランドを招聘して行うイベントの具体的な内容については、総合開会式でパフォー

マンスしていただき、パレードにも参加していただく。また、日本、ニュージーランド、ベトナムと岐阜県が連れて来てくださる外国の方の4か国で交流する予定である。

2点目の部活動の形態について、ニュージーランドはマオリ族の民族舞踊にハカがあるが、伝統芸能であるカパ・ハカを大事にしており各学校のクラブで、活発に活動している。ベトナムは、ベトナム大使館を通して調整しているところであるが、部活動のあり方については勉強不足で把握できていない。

(堀江委員) ベトナムとニュージーランドとの国際交流について、イベント当日までの間に、学校で何か国際交流をすることは考えているのか。

(全国総文祭室長) 現在、検討中である。日本との時差があまりなく、オンライン交流が可能であることから、ベトナムとニュージーランドに決定した。来年度、日本との国交樹立50周年を迎えるアジア圏と、時差が3、4時間で収まるオセアニアから決定した。オンライン交流により事前に生徒同士でお話をしつつ、イベント当日に実際に会うということができたらいいと考えている。

(堀江委員) 生徒たちの理解を深めることにつながると思うため、事前のオンライン交流を、ぜひ検討していただきたい。

〈質疑終了〉

4 議案

議案第2号 県立学校長の任命について
(非公開)

議案第3号 学校職員の懲戒処分について
(非公開)

議案第4号 鹿児島県スポーツ推進審議会委員の任命について
(非公開)

議案第5号 鹿児島県社会教育委員の委嘱について
(非公開)

5 その他

(3) 義務教育諸学校等における令和5年度使用教科書の採択事務について
(非公開)

(4) 地域文化功労者表彰の候補者の推薦について
(非公開)

6 閉会